

平成 30 年度 夕張市学校運営協議会の取組について（総括）

1 夕張クリーン day のとりくみ

第2回の夕張市学校運営協議会で提起した「夕張クリーン day」は、予定通り 11 月 16 日（金）に一斉に行われました。バス通学の児童はバス停までということでしたが、南部地区はゴミが落ちていなかったそうです。やはり徒歩通学の児童たちはたくさん拾ってきていました。小学校では、学校の玄関前で児童会の役員や環境委員の子たちがゴミを受け取りました。

中学生は、小学生が喜んでゴミを拾うので、遠慮（？）して小学生に拾わせていたそうです。

また、幼稚園では「クリーン作戦」としてかわいらしい『参加証』を作成して意欲化を図ったようです。

子ども達と一緒に歩いていただいた保護者からのお話では、夢中になり過ぎて、崖に登ったり、割れたガラスがあったりと、

安全面での課題もありました。地域の大人の人と一緒にできるようになると、取組の幅も広がると思います。来年度は町内会等にも声をかけ、子どもも大人も一緒に「クリーン day」に参加できればと考えます。 次回は春です！



2 家庭学習強調週間（ファミ・スタ WEEK）のとりくみ

現在、第2回目の「ファミ・スタ WEEK」の集計中です。第1回目は「夕張クリーン day」と同じく、周知期間も短く満足な結果とはいかなかったかもしれませんが、それぞれできることから始めてみました。

幼稚園では、「親子で文化を楽しむ週間」として、具体的に内容も提示して、このとりくみの趣旨を理解してもらいました。

【幼稚園の具体的内容の例】

- ・本の読み聞かせ
- ・親子読書
- ・ぬり絵
- ・ジグソーパズル
- ・かるた
- ・トランプ
- ・囲碁・将棋
- ・五目ならべ
- ・おり紙
- ・レゴ
- ・積木遊び
- ・しりとり
- ・クイズ
- ・おはじき
- ・・・・etc

実施後のアンケートでは、

- ・そろばん
 - ・ひらがな（読み・書き）
 - ・すうじ
 - ・名前の練習
 - ・ドリル
 - ・かたづけ
 - ・ブロック
 - ・ねんど遊び
 - ・英語の絵本
 - ・アイロンビーズ
 - ・ピアノ練習
 - ・工作
 - ・お金はいくら
 - ・メモリーゲーム
 - ・オセロ
- なども行われました。

小学校では、1年生が90%、3年生が100%の実施率となり、全体では79%の実施率となりました。中学校では独自の計画があり、実施率こそ高くはありませんでしたが、今後へと期待していきたいと思います。

保護者からの反応は概ね好意的に受け止められていました。

- ・前は、お姉ちゃんに絵本を読んでもらうことが多かったけれど、今回は、自分から読んだりしました。
- ・家族全員で一緒に遊ぶきっかけになりました。これからも続けていきたいと思います。
- ・チャレンジ期間中、ユーチューブも見ないで、頑張りました。
- ・やる気スイッチが入るまで時間はかかりますが、少しずつ楽しんでやれるようになってきたかなと思います。
- ・うんこ算数を頑張りました。楽しいようで、「次も・・・次も・・・」とやっていました。指をかってやると大変そうでした。

ファミリー・スタディー
家庭学習強調週間 福してファミ・スタ WEEK
2月20日(水)～2月26日(火)

書庫の蔵、保護者の皆様にはますますご賞賛のこととお喜び申し上げます。卒業は本市の教育活動に
 対しまして感謝のこころを語り、厚くお礼申し上げます。
 さて、機材の件についてですが、コミュニティ・スクールの統一取組として始まった「家庭学習強調週
 間（ファミ・スタ WEEK）」の第2弾のお知らせです。
 つきましては、夕張中学校の定例テスト開催にあわせて、小・中・小学校で共通して学習に役か
 う書籍を強化しようという目的で以下の取組を行います。1週間ですが、卒業の中で勉強に関する話題
 を積極的に持ち、あわせて、読書やスマホ、ゲームの活用方法も見直す機会とします。

具体的な取組

▼ 期 間 中学校定例テスト1週間後の
2月20日(水)～26日(火)

▼ 内 容

1 学習習慣の定着
 見：おみせかきや親子読書
 小学生：15分～30分
 「学年×10分+10分」
 中学生：2時間以上

2 読書・スマホ・ゲームの活用制限
 見：18時以降
 小学生：19時以降 利用時間制限
 中学生：22時以降
保護者が翌日まで預かる！
 この期間にメールやLINEがくること
 はなく、勉強に集中できます！

3 「ファミ・スタ カード」
 チェック表への記入・提出

夕張市立ゆうばり小学校
 校長 末本 智

すでに、おみせかき
 があつた場合はこの取組
 ではありません。

お兄ちゃん・お姉ちゃん
 弟・妹と
 一緒に勉強しよう！

ファミスタ カードは
 26日(火)に集めます。

- 今回は自分から進んで勉強してくれました。ゲームも 18 時にやめるようになり、絵を描いたり物づくりをしていることが、いつもよりふえました。
- 毎日少しずつ取り組んでいました。(工作) できあがった時の喜びようは嬉しそうでした。
- とてもよい取り組みですね。自分だけじゃなくお友達もがんばっていることが励みになったようです。これからも続けていってほしいです。
- 一生懸命頑張って、ほんとうはみたいタブレットも 19:00 にはあずけてくれました。もっと続けてほしいです。
- 毎日しっかり家庭学習に取り組んでいました。ゲームの時間を兄と確認してました。良い取り組みだと思います。
- 記入することで、毎日意識が高くなり、私がうるさく言わなくても自分から進んで取り組んでいました。続けてほしいです。
- 大いに賛成です。自分から勉強する姿を見られる事に感激しました。このまま、この取組を続けてほしいです。
- スマホ依存症。親も考えさせられる 1 週間でした。子供に我慢を前に親も我慢を見せる。6 年生にもなると、言葉で伝えるだけでは難しい年になってしまいました。親子で反省しています。

来年度は、中学校の取組を考えながら、より効果的及び持続可能なスタイルを模索しながら取組を進めていきたいと考えます。

【memo】

ファミスタカード集計表

学校名 ゆうばり小学校

児童数 206

実施人数 162




実施率 79%

【集計】

	曜日	火		水		木		金		土		日		月		総計
		人数	率	人数	率	人数	率	人数	率	人数	率	人数	率	人数	率	
家庭学習	◎	110	68%	106	65%	107	66%	95	59%	72	44%	78	48%	100	62%	59%
	○	33	20%	43	27%	37	23%	40	25%	41	25%	38	23%	41	25%	24%
	△	19	12%	13	8%	18	11%	27	17%	49	30%	46	28%	21	13%	17%
スマホゲーム	◎	113	70%	109	67%	116	72%	109	67%	101	62%	100	62%	101	62%	66%
	○	28	17%	37	23%	33	20%	36	22%	36	22%	33	20%	39	24%	21%
	△	21	13%	16	10%	13	8%	17	10%	25	15%	28	17%	22	14%	13%

学年WEK結果	学年WEK結果						目標
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	
実施率	90%	72%	100%	85%	56%	77%	90%以上
学習	◎	80%	54%	61%	61%	47%	80%以上
	○	10%	24%	21%	21%	30%	30%未満
	△	10%	21%	18%	18%	23%	20%未満

【自己評価アンケート】

	人数	率
	88	54%
	54	33%
	20	12%

- ・やはり土日の学習面のポイントは落ちている。特に△の%が急増している。
- ・家庭学習の◎は次回70%をめざしたい。高学年になるほど◎の率が上がり、○の率が上がるのは、時間をクリアできていないことが予想される。(5年:60分, 6年:70分)
- ・スマホ・ゲームは、曜日によって大きな変化はあまりなかった。高学年になるにしたがってマインズの率が高くなっています。5・6年生2割ほどの児童が△です。(6・7名)スマホ 率の高さも影響あるかもしれない。
- ・◎、○、△の基準も明確にする必要があるかもしれない。
- ・自己評価は80%以上が満足できるように取り組む必要がある。

ご協力ありがとうございました。

ファミスタカード集計表

学校名 夕張中学校

生徒数 102

実施人数 37

実施率 36%




【集計】

曜日	火		水		木		金		土		日		月		総計
	人数	率	人数	率	人数	率	人数	率	人数	率	人数	率	人数	率	
◎	16	43%	18	49%	17	46%	16	43%	18	49%	20	54%	21	57%	49%
○	16	43%	13	35%	14	38%	16	43%	9	24%	11	30%	14	38%	36%
△	5	14%	6	16%	5	14%	4	11%	9	24%	5	14%	2	5%	14%
◎	12	32%	11	30%	15	41%	11	30%	11	30%	11	30%	16	43%	34%
○	13	35%	17	46%	14	38%	16	43%	15	41%	14	38%	13	35%	39%
△	12	32%	9	24%	7	19%	9	24%	10	27%	11	30%	8	22%	25%

学年WEEK結果	1年	2年	3年
実施率	56%	21%	35%
学 習	◎	48%	36%
	○	31%	57%
	△	17%	7%

目標	学年WEEK結果	1年	2年	3年
90%以上	実施率	56%	21%	35%
80%以上	スマホ・ゲーム	◎	41%	40%
30%未満		○	48%	42%
20%未満		△	11%	18%

【自己評価アンケート】

	人数	率
		0%
		0%
		0%

- ・周知期間も短く、中学校の計画もある中での実施ということもあり、予想通りの実施率であった。今後の実施率向上に期待したい。
- ・家庭学習の◎は次回60%をめざしたい。3年生は実施率こそ高くはないものの、学習については目標をクリアできている生徒が多い。
- ・スマホ・ゲームは、曜日によっての変化は見られない。1年生の使用率が高い実態がわかった。
- ・◎、○、△の基準も明確にする必要があるかもしれない。
- ・自己評価は80%以上が満足できるように取り組む必要がある。

ご協力ありがとうございました。

3 平成30年度 夕張市学校運営協議会アンケート

A～十分実践 B～やや実践 C～やや不十分 D～不十分

1 学校運営協議会の在り方について

	□ 教育目標・組織運営について	4	3	2	1	無	総評
		15	34	11	0		
①	委員の人数・役割が適当であり、機能している	20%	67%	13%	0%	0%	3.1
②	学校運営協議会（全体会）の開催時期、回数は妥当である	40%	47%	13%	0%	0%	3.3
③	学校（園）の目標・課題の共有化を図るために、学校運営協議会による熟議を行った。	33%	47%	20%	0%	0%	3.1
④	学校（園）と地域が連携した取組を組織的・計画的に行っている	7%	67%	27%	0%	0%	2.8

2 部会活動について

	□ 教育目標達成を目指した学校運営	4	3	2	1	無	総評
		11	35	14	0	0	
⑤	回数や内容が適当である	20%	53%	27%	0%	0%	2.9
⑥	保護者・地域による支援が具体的に行われた	13%	73%	13%	0%	0%	3.0
⑦	学校（園）、保護者、地域が協力して子どもたちを育てていこうという意識が高まった。	33%	47%	20%	0%	0%	3.1
⑧	目標の達成や課題を解決するための取組が行われた	7%	60%	33%	0%	0%	2.7

3 学校運営協議会の推進について

	□ 「生きる力」を育む教育の推進（教育課程、授業実践等）	4	3	2	1	無	総評
		7	27	25	1	0	
⑨	教職員・保護者・地域住民にCSの活動が周知されている	7%	33%	53%	7%	0%	2.4
⑩	目標の共有化が「チーム学校（園）」として、実際に図られている	13%	53%	33%	0%	0%	2.8
⑪	地域による学校（園）支援が適切に行われている	7%	67%	27%	0%	0%	2.8
⑫	地域の人材や素材を生かした学習活動が行われている	20%	27%	53%	0%	0%	2.7

◇夕張市学校運営協議会初年度の今年、正直言って部会としては地に足の着いた活動ができなかったと思います。ただ、地域をあげて子どもの教育環境を考えようという動きのきっかけになったとは思っています。この動きが益々広がり、市全体の教育環境改善の機運が高まることを期待します。

◇あまりお力になれなくて反省しています。教育活動、特に美術活動に関して、文化協会、美術協会にお声をかけてください。

◇毎年度実施事業を増やし、本会の進展を図りたい。

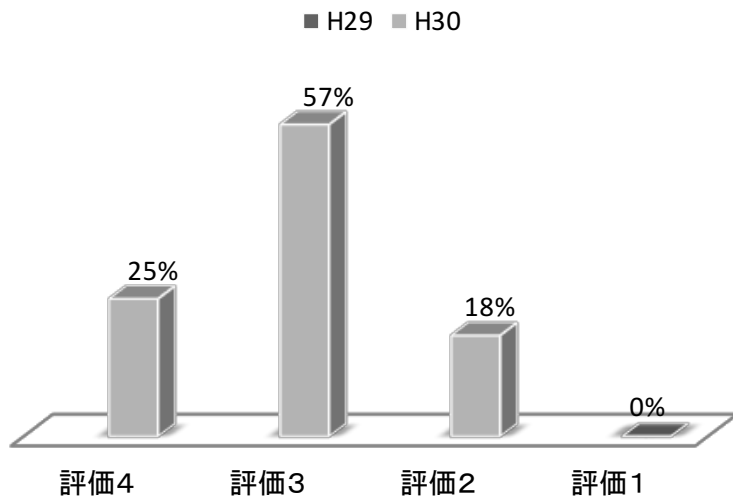
◇各委員のバックグラウンドを今一つ知る機会がなく（私だけ知らない？）具体的な提案が出しにくいと感じます。せめて職業と趣味などの情報共有が必要ではないでしょうか。会議開催の案内において出欠確認の文言がないことが気になります。あくまでボランティアで自由参加なのは理解できますが、欠席者には事前に資料を渡すなどして、提案、質問を出してもらう形式が望ましいと思います。（会議終了後に報告するだけでなく）事務局の手数を増やす案件で申し訳ないですが、各委員のやる気をしっかり引き出すこと、各々が貴重な人材である自覚を持つために、よろしく対応してもらいたいです。

◇学校運営協議会の意義は理解しているつもりですが、自分にはたして何が出来るのか模索中です。正直「あなたは〇〇をやって下さい。」と今は指示を出していただきたいです。その実績から次はこんな事をやってみようかとか考えていけるとと思います。

◇学校行事に保護者だけでなく地域住民が参加する機会や人数も多くなってきているように感じます。具体的に関わりを持とうとする事はまだ少しむずかしい場合も考えられますが、学校側からの要請があれば徐々に増えて行くのではないかと思います。

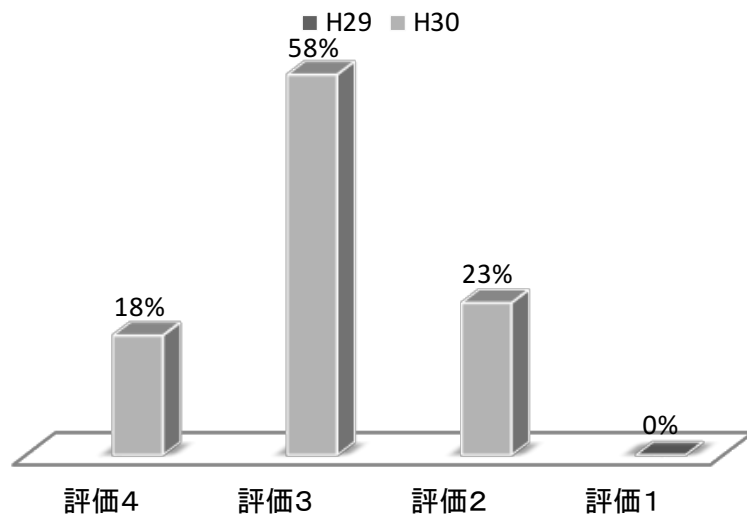
学校運営協議会の在り方

回収率	H29	H30
1 評価4	15%	25%
評価3	38%	57%
評価2	18%	18%
評価1	0%	0%
2 評価4	18%	18%
評価3	58%	58%
評価2	23%	23%
評価1	0%	0%

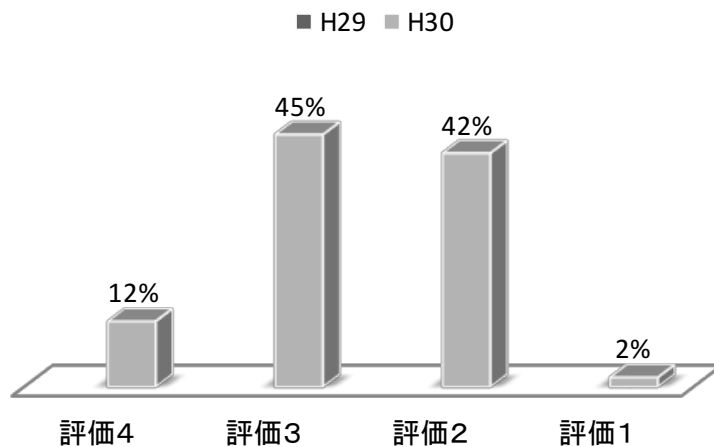


部会活動について

H29	H30
3 評価4	12%
評価3	45%
評価2	42%
評価1	2%



学校運営協議会の推進



小学校の職員アンケートから「CS 希望事業（取組）」について

今年度から始まった夕張市コミュニティ・スクールの活動内容について、第1回目の小学校部会で「学校側から具体的な要望があると、考えやすい」という意見が出されていました。

そこで、どんな支援が必要か、どんな協働体制が必要か意見を提出してほしいと思います。

【具体例】

- ◇ スキー授業のボランティア指導員の要請（指導員資格同等を持つ方…）
- ◇ 図書整理ボランティア
- ◇ ミシンの指導補助ボランティア
- ◇ 音楽 和楽器学習 ゲストティーチャー招聘
- ◇ 校舎内外の営繕・修繕
- ◇ さぼスタとの連携…放課後学習のボランティア
- ◇ 地域貢献として 夏祭りへの阿呆踊り参加（ボランティア対応）

【他地域での取組例】

三笠市では

1. 学習支援ボランティア

- | | | | |
|-----|-------------|-----|-----------------|
| 小学校 | ・水泳・スキー指導補助 | 中学校 | ・書写指導講師 |
| | ・ミシン指導補助 | | ・コミスク講和講師 |
| | ・地域科講師 | | ・柔道・ダンス・スキー指導講師 |
| | | | ・手話、車椅子福祉学習 |
| | | | ・キャリア教育（保育所・福祉） |

※ 「見守り」、「図書整理」、「校地清掃」、「スクールバス乗車指導」

- ① 2年生生活科「仕事にチャレンジ」：仕事の様子を取材させてもらったり、来校していただき紹介してもらったり…。
- ② 畑づくりの指導：各学年，植える野菜を決め。畑の達人に来てもらう。
- ③ クラブの参加：ものづくりクラブ，家庭科クラブ，ソフトボールクラブ…大人が混ざって一緒に楽しんだり，作り方をレクチャーしてくれるなど。
- ④ 学習的なお助けがほしいのですが…どこまで可能なのでしょうか？
放課後学習支援（さぼスタ）との連携等
- ⑤ 放課後活動支援～バス待ちの間の見守り等
- ⑥ スクールバス乗車指導（日常的に…バスの中等についても見守る等）
- ⑦ 外国語活動の支援
- ⑧ 図工等でのものづくり（木工，陶芸…）
- ⑨ 書道講師：書初めなど

4 今年度の総括

初年度ということもあり、組織体制の確認や部会運営、全体会の議論のあり方（熟議）など、手探りで進めてきたことと思われまます。まずは、部会ごとに具体的な活動を起こすことが重要であります。その打合せ、会議の時間すらなかなか持てないのが現状のようです。学校運営協議会の取組が「働き方改革」の足かせになっては本末転倒です。

そこで、まずはCSとしての動きを全体で起こそうと①夕張クリーン day や②家庭学習強調週間（ファミ・スタ WEEK）を提起しました。来年度以降も改善点を加えながら長い取組にしていこうと考えます。

士別市の学校運営協議会の資料を見ていると…

- 学校の魅力、地域の良いところは何か
- 今、わがまちには何があり、何が眠っているのか
- 新しいものではなく、今あるものを活かす意識



- 子どもたちは、ふるさとが好きか
- 子どもたちは、ふるさとの人が好きか
- ふるさとの人は、地域の未来を見ているか

夕張にもあてはまることだと考えます。大切にすべきフレーズだと考えます。

5 来年度に向けての展望

(1) 何か観点を決めて、各部会で取り組んでみるのはどうだろうか。

例えば) 以下の4観点を教育課程の中に組み込み、実践をする。

- ・ 地域の人材を生かす
- ・ 地域を教材化する
- ・ 地域に貢献する
- ・ 地域と共に学ぶ

学年の指導内容と照らし合わせ、地域から、地域で学ぶという視点を持つ。

(2) 動きやすさを考えれば、当面は「学校発」

しかし、

学校が地域に何が出来るか…「地域貢献」が重要である。

(3) その他